

弱酸性化粧品は肌荒れのもと

健康な美肌をめざして…



NPO法人 日本免疫美容協会

理事長 島野孝子

08

前号で健康で美しい肌を損なう原因として、ランゲルハンス（ランゲル君）を傷める石油系界面活性剤を



あげましたが、もう一つあります。それは、弱酸性の化粧品です。弱酸性の化粧品、よく耳にしますが、実はこれが長い目でみると、肌の健康を損なう原因なのです。

確かに肌の表面は弱酸性になっています。それは弱酸性であると、肌を引き締め外部から異物の侵入を防ぐ効果があるのと、弱酸性には殺菌作用があり、肌を細菌から守るからです。

肌が弱酸性、これは健康な肌が自らの力で酸性にしているのです。肌にはいろいろなものが分泌されてい

ます。だから私はお肌は排泄器官といつているのですが、この分泌物（排泄物）には、肌を弱酸性に保つのに有効な成分を含んでいます。皮脂や脂肪酸がそれです。肌はこれらの排泄物を代謝することによって、自然に弱酸性になるのです。

ところが、弱酸性の化粧品を与え続けると、この機能が弱くなってしまふのです。ここにもランゲル君が関与しています。肌の見張り役であるランゲル君が、弱酸性の肌を感知し、脳に連絡すると、脳は分泌物の代謝を指示しなくなってしまうのです。

自分の力でうるおいを出せなくなってしまうと、結局肌はカサカサの状態になってしまふのです。カサカサになるとさらに化粧品でカバーします。結局は悪循環に陥ってしまい、肌はますます荒れてしまふのです。